

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本畜産学会 第124回大会
演題名	豚ロース肉中のホスファチジルコリンおよびスフィンゴミエリンの可視化
発表者	○榎元廣文、根本日樹※、佐藤圭※、 <u>山根久和</u> 【食品分析学研究室】
内容	リン脂質は食肉の美味しさや機能性において重要な成分であるが、その分布は十分に調べられていない。イメージング質量分析は脂質の可視化に有効な手法である。そこで本研究では、遅筋、速筋、脂肪、および透明な組織を含む豚ロース肉の切片を作成し、イメージング質量分析によりジアシル型とプラズマローゲン型のホスファチジルコリン（PC）および、スフィンゴミエリン（SM）を可視化した。その結果、PCおよびSMとも含有脂肪酸の異なる分子種ごとに、豚ロース肉中の各組織において異なる分布をしていることが示唆された。